



DAWN劇団あけぼのの日本公演は終わりましたが、マニラで作っているシクハイ製品の販売活動が続いています。日比谷公園で開催されたフィリピンフェスティバルでは、みんなの夢の音楽隊だけでなく、埼玉大学や、神田外語大学の学生さんも参加して、みんなで一緒に販売活動をおこないました。こんなことは今までに無かったことなので、これからもみんなであつながつながって、効果的な活動ができればいいですね♪準備段階では、いつものように担当者さんと連絡がつかず、



いったいぜんたいどうなることやらと不安もありました。今後の課題です。

DAWN 協賛金のお願い!



活動20周年を迎えるDAWNと、17年目のみんなの夢の音楽隊。毎年のようにみなさまからの協賛金で劇団あけぼのの日本公演を実施してきました。今年はその中でも、埼玉大学、千葉大学での公演をコーディネートし、それぞれ初めての公演を実現できました。また、愛知公演を担当している中島さんが埼玉大学で講演をするなど、横のつながりも生まれています。が・が・が……。例年に比べて協賛金(寄付)がとても少ないのです。熊本地震の影響もあるかもしれませんが、それにしても半分も集まっていません。もちろん、私のアピール不足は反省しなければ……。ですが、ここはひとつ、今一度みなさまにご協力をお願いしたいと思います。今年の、そして来年のDAWN劇団あけぼのの日本公演のための協賛金に、どうぞご協力をお願いいたします。

会員の皆様へ 重要なお知らせ・・・などなど

- 「ゆめうたホームページ」をぜひご利用ください
- 会費のクレジットカード月次決済への切り替え、ご協力をお願いいたします。

ゆめうたホームページでは、会費・寄付のお支払いなどのクレジットカード決済ページをご用意しています。安定した会費収入があると、とても助かります。(切実)月々250円

から少額の引き落としですので、ぜひ気軽にご登録をお願いいたします。認定NPO法人みんなの夢の音楽隊への応援をどうぞよろしく!パソコン・携帯電話・スマートフォンからご利用いただけます。

<http://yumeuta.com>

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊 メンバー募集中

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊は、会員の皆様の会費によって運営されています。私たちの活動に賛同し、協力してくださるメンバーを募集しています!

- 正会員(総会での議決権を持ちます) 年会費 1口10,000円または月会費750円
 - 個人賛助会員(ゆめうたサポーター) 年会費 1口 3,000円または月会費250円以上
 - 団体賛助会員(ゆめうたサポーター) 年会費 1口10,000円
 - MMCCサポーター・DAWNサポーター 年会費 1口 3,600円または月会費300円
 - ゆめうたサポーター 月々100円以上の定期定額寄付(クレジットカードによる月々自動引き落とし)のご登録
- ※会費・ご寄付のお支払いは、年払い一括または、クレジットカードによる月々の自動引き落としがご利用いただけます。
※会員・寄付者のみなさまには、不定期(年2回程)でゆめうたニュースをお届けします。

お問い合わせ TEL048-783-5771 FAX048-783-5772 info@yumeuta.com 郵便振替 00160-8-352345 認定特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

ゆめうたニュースに関する感想・アイデア・情報等をお寄せください。お待ちしております。



認定特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊
〒338-0811 埼玉県さいたま市桜区白鷺202-19
TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772
info@yumeuta.com
編集・発行 今川夏如

2016年劇団「あけぼの」ミュージカル埼玉公演

クレイン・ドッグ

～ルーツを探して～

2016年5月14日(土)～31日(火)特集号!

ごあいさつ

DAWN(ドーン)は1996年にフィリピンで設立され、フィリピン国内で女性の自立を目的とした活動を続けています。

劇団「あけぼの」は、日本人の父親を持ち、フィリピンで暮らしている子どもたちで組織され、JFC(ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン)の生い立ちや、彼ら自身が抱える心の葛藤を、演劇を通じて日本の人々へ伝える活動をしています。

JFCという特殊な環境に生まれ、差別や偏見を乗り越え、彼らは成長していきます。自分自身の中に問題意識を持ち、DAWNの活動を通じ見識を広げ、日本にいる父親との関係を維持し、高等教育を経てフィリピンで力を発揮しようとしています。

私たちはDAWNのメンバーとともに、フィリピンの女性の自立と権利の向上をサポートし、さらには貧困問題の解決に寄与し、出稼ぎを強いられる女性を減らしたいと思っています。また、日本公演を通じてこの問題を私たち日本の課題としてとらえることを目指しています。

最後になりましたが、日本公演のためにご協力いただいたみなさま、協賛金をいただいたみなさまに、心より御礼申し上げます。協賛金は、公演終了後もしばらく受け付けております。また来年の費用にも役立たせていただきますので、どうぞご協力をお願いいたします。

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊 今川夏如

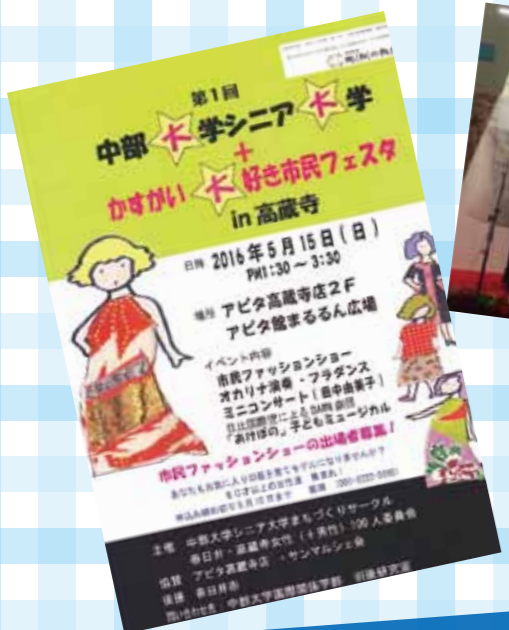
誰の幸せも壊したくない。

みんなうれしいのが良い。

ひとりの女の子がいました。彼女にはお父さんがいませんでした。お父さんは遠くの国にいます。会うことはできません。たまに電話でお話をするだけ。お父さんには別の家族がいます。だから、お父さんと話すことができない。ホントに少しの時間。彼女はお父さんのいる国が好きです。だから、お父さんのいる国に行きたくて、一生懸命がんばりました。彼女は何度かお父さんのいる国に行きました。お友達もたくさんできました。でも、お父さんに会うことはできませんでした。お父さんには別の家族がいて、その家族は彼女のことを知りません。彼女は自分に兄弟がいることを知っています。でも、兄弟たちは、彼女というお姉さん・妹がいることを知らないのです。いつか一緒に遊びたいと思っています。でも、その願いは、誰かの幸せを壊してしまうかもしれない。彼女はすべてを理解しています。彼女は、お父さんの国のお友達のことが大好きです。本当の友達になりたい。なんでも話せる友達に。彼女はお友達に聞いてみました。

「もし私があなたの妹だったら、家族に迎えてくれる?」

私には、この質問の意味を理解するのに少し時間がかかりました。何年も彼女と一緒に過ごしていたけれど、そんなことを想像することはありませんでした。彼女や、彼らは、私たちよりもはるかにたくさんの現実を見て、想像に耐えて、今ここで私の前に立っています。彼女は、私より私の無知を知っていました。



5月14日(土)中部国際空港にDAWN劇団あけぼのメンバーが到着しました。春日井公演を担当している中島弘象さんと、認定NPO法人みんなの夢の音楽隊のメンバー、さらには埼玉大学の1年生4名が空港での出迎えをし、そのまま春日井市の高蔵寺教会までいっしょに移動しました。到着が夜のため、その日はみんなで牛丼を食べました!教会の活動室をお借りしての宿泊でしたが、初めましてのメンバーや、再開を喜ぶメンバーで、わいわいの夜を過ごしました。



5月15日(日)、アピタ高蔵寺にて、初公演。地元のみなさんによる手作りファッションショーや、楽器の演奏などもあり、たくさんの地域の方が観に来てくれました。初回公演ということもあって、劇団メンバーはだいぶ緊張していました。一生懸命覚えた日本語のセリフを間違えてしまったり

しましたが、とても温かい雰囲気の中、良い公演ができました。公演後は、高蔵寺教会のみなさまが食事を作ってくれて、お疲れさまのパーティをしました。埼玉からのメンバーは、そろそろ帰らないと明日の授業が学校が!!!という中、名残惜しそうにしばしの別れとなりました。

● 5月14日・15日 ●
DAWNメンバー日本到着
愛知県春日井市
アピタ高蔵寺公演

5月22日(日)、京都・大阪での公演を終え、新幹線で大宮駅に到着した劇団一行を出迎え、ぎりぎり日が落ちる前に、さいたま市中央区で開催中のバラ祭りへ行きました。例年、埼玉到着はひとつの区切りになっているようで、過ごし慣れたゆめうたハウスでのんびりと夕飯を食べ、大人たちは長旅の洗濯物を洗濯機2台乾燥機2台を使って一気に片づけていました。

● 5月22日～ ●
埼玉の事務所に滞在
公演の合間のフリータイム



5月28日
稲毛海岸海浜公園

稲毛海岸海浜公園に遊びに行っちゃったよ!



あけぼのファーム
始めました。



5月30日
フェアウェルパーティ



朝ごはん!



5月27日
千葉大学公演



5月26日
埼玉大学公演



父親との再会

ひとりの女の子がいました。彼女にはお父さんがいませんでした。彼女は大きくなるにつれて、まわりの子どもたちとちよつと違うことに気がつきます。そしてお父さんはいはいののではなく、遠くにいるのだと知りました。彼女はお父さんを探しました。お母さんのお友達や、親戚の人から話を聞いたりして。そして、お父さんを見つけました。直接見ることはできないけれど、魔法の道具を使って小さな画面で見ることができました。お父さんには別の家族がいて、自分と同じ女の子もいました。こっそりお父さんを見ていたかっただけだけど、その女の子に見つかってしまいました。あなたはだあれ? 彼女は何も言いませんでした。彼女はお父さんの家族のために、何も言わなかったのです。彼女は魔法の道具を使わないようにしました。彼女には夢がありました。そして、希望もありました。彼女にとって、ドリーム(夢)とホープ(願い)は違うのです。夢はたとえかなうことが無くても、その夢を想像して楽しむことができるのです。願いは叶わないと悲しくなるのだそうです。彼女には夢がありました。ひとつはお父さんのいる国に行ってみること。もうひとつはお父さんに会うこと。そしてもうひとつは、学校で1番の成績を取ることで

した。彼女は一生懸命がんばりました。10歳の時、彼女はお父さんのいる国に行くことができました。たくさん勉強をがんばって、良い成績を収めたご褒美です。でもお父さんに会うことはできませんでした。彼女はもつとがんばりました。あつとちよつとで夢がホントになりそうです。学校で2番になりました。彼女はまたお父さんのいる国に行くことができました。彼女はとてもがんばっていたので、彼女を応援してくれるたくさんの仲間も一緒に、お父さんのいる国にもたくさんのお友達と一緒に行きました。一緒にしゃべりをしてきた。お父さんのいる国のお友達が、お父さんを探してくれました。お父さんはとても驚いていました。まるで時間が止まったかのような気持ちになって、彼女とお父さんは抱き合っただけで涙を流しています。会いたかったお父さんに会えました。一緒にいられなくてごめんね。でも、忘れたことは一度も無かったよ。わかってる。彼女はお父さんのことを一番よくわかっています。一緒にいることはできないけれど、会いたかった。会えなくなってから15年もたっていました。夢がまたひとつホントになりました。彼女は大きくなったら弁護士になりたいと思っていました。でも、そのための勉強をするには、とてもたくさん

のお金が必要です。お父さんは彼女の夢を応援することになりました。彼女の願いが夢になりました。きっと彼女は、遠くない将来、その夢を叶えるでしょう。夢は叶わなくても楽しいものでした。でも、夢はひとつひとつ叶っていき、だれもが夢を叶えられるわけではありません。けれど、夢を叶えていく人は、だれよりもがんばっています。がんばっている人を応援するのが大好きな人がいます。私です。誰かが夢を叶える瞬間に立ち会えることはとても幸せなことだと思います。彼女の他にも、こうやって夢を叶えてきた友人が何人もいます。彼らは誰よりも努力しています。努力が報われる世界であって欲しい。夢を追いかけ、がんばる仲間が支え合う、そんなつながりがあってほしい。なと思います。認定NPO法人みんなの夢の音楽隊は、そんな「つながり」です。私は、このお話に出てくる女の子が生まれた年に、この活動を始めていました。不思議な巡り合わせで、彼女の夢と一緒に見る事ができました。そして、この先も一緒に歩いていく仲間であり続けます。今日のこの瞬間に関わったすべての人へ、目に見えない幸運と、その幸運を引き寄せた努力と、出会いに心から感謝します。ありがとう。ありがとう。ありがとう。

●各地の公演●
埼玉大学・千葉大学・
フェリス女学院大学・
神田外語大学



5月29日
神田外語大学公演



5月24日フェリス女学院大学公演

